

桑名のまちを歩く

四日市で「まちづくり市民会議」の会合に参加したあと、桑名で途中下車した。服部先生の観光の講義を聞いて、東海道の七里の渡しに興味をわき訪ねることにした。七里の渡しは東海道の海路として知られているが、熱田・宮と桑名を約4時間かけての船旅だったという。

桑名駅からまっすぐ川の方に向かって10数分歩くと、「東海道五十三次七里の渡し跡」についた。公園と整備されていたが、残念ながら巨大な長良川河口堰がすぐ目の前に見えてしまう。遠い昔の船旅を思い浮かべたかったが、現実に引き戻されてしまった。



しかし、桑名は四日市と比べると水辺空間に近づけ、歴史を感じることも多く心もなごむ。帰りに「寺町通り」という商店街に立ち寄ったが、人通りは多くなかったが、なかなか味わいのある商店街であった。それに比べて桑名



駅前が寂しい感じであった。

(2007年11月12日 記)